

新しく着任した 移住コンシェルジュを紹介します!!

2月1日から市の移住コンシェルジュ（地域おこし協力隊）に2人の新しい仲間が加わりました。移住コンシェルジュは、移住相談や各種移住ツアー、SNSを使った情報発信など、本市への移住者を増やす取り組みを行っています。着任した2人に意気込みなどを聞きました。



さわら ゆうた
佐原 悠太 さん

東京都出身。47歳。前職はWEBデザイン、動画編集、DTPデザインなどを行う個人事業。趣味は卓球・イラスト・将棋など

鹿角市には昨年、農業体験で訪れており、ネギ・ミニトマト・リンゴなどの収穫作業を体験しました。その時に鹿角に来るきっかけとなった鹿角ラボのメンバーや、NPO 法人かづのclassyのスタッフの方々を通じて知り合いが増え、移住を考えるようになりました。

東京に戻った後、秋田県や鹿角市の認知度が東京ではまだ低いことを実感し、鹿角市の良さをまずは都市部の方々に伝えていくことが重要だと感じました。前職でWEBデザインや動画制作、印刷物のデザインなどをしていたこともあり、そのスキルを生かせるのではないかと考えています。

鹿角市の良さはいろいろありますが、かつて鉱山産業などで労働者を受け入れてきた歴史があるためか、外部から来る人間に対して比較的オープンな気質の方が多く、移住者にとってとても住みやすい、移住しやすい環境だと感じています。

移住コンシェルジュという仕事を通じて鹿角市の魅力を伝えていながら、新たな鹿角市の魅力についても発掘していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。



ひだか あい
日高 明衣 さん

鹿児島県出身。35歳。前職は管理栄養士として公立病院に勤務。趣味は図書館へ行くこと、自然の景色を見ること

初めて鹿角市を訪れたのは昨年9月で、当時5歳だった息子と子育てママ応援移住ツアーに参加しました。ツアー中、鹿角での出会いや出来事を楽しむ我が子の様子を見て「ここなら2人で暮らしていける」と確信し、移住を決意しました。

「鹿角の人々は他人事を自分事のように一緒に考えてくれる」そう先輩移住者から聞いていました。実際に、移住する前からたくさんの鹿角の方々が私たちをサポートしてくれて、心が温かくなることが何度もありました。そして移住後も変わらず、私たち親子に良くしてくださいます。

1月末から息子が入園している保育園の園長先生からは「子どもは宝。子どもが増えることは良いこと、来てくれてありがとう」と声をかけてもらいました。美しい雪景色よりも、伝統的な食べ物よりも、人の心の温かさを感じられることこそが鹿角の一番の魅力であり、これからこの場所で成長していく息子の成長が楽しみです。あなたと、あなたの大切な人や物に目を向けてくれる環境がここに 있습니다。たくさんの方々に移住してもらえよう尽力します。

Topic 07 ふるさとの伝説・民話を絵画で表現

読書感想画コンクール展



- 【市長賞】
小笠原 朋希さん（十和田小・左写真）
- 【教育長賞】
石井 さゆきさん（柴平小・右写真）
- 【各学年金賞】
- | | |
|----|---------------|
| 1年 | 金澤 煌希さん（大湯小） |
| 2年 | 田中 瑛泰さん（花輪小） |
| 3年 | 藤原 怜香さん（花輪小） |
| 4年 | 黒川 花穂さん（十和田小） |
| 5年 | 田子 陽莉さん（大湯小） |
| 6年 | 安保 友郎さん（八幡平小） |

市内小学校と比内支援学校かづの校の児童による読書感想画コンクール作品の展示が2月1日から15日まで文化の杜交流館コモッセで、16日から29日まで十和田図書館で行われました。このコンクールは、子どもたちに読書とふるさとに伝わる伝説・民話に親しんでもらおうと市内の図書館が企画したもので、今年は110点の応募がありました。会場には「だんぶり長者」や「八郎太郎物語」など、学年ごとに違う民話をテーマに、物語の場面を想像して描かれた作品が並んでいました。市長賞には小笠原朋希さん（十和田小5年）の「今、戦いのとき」が、教育長賞には石井さゆきさん（柴平小6年）の「この湖はおれのものだ」が選ばれました。

Topic 08 土深井裸まいり 厄除け願い、身を清める



十和田末広地区の土深井集落に伝わる土深井裸まいりが2月18日に行われました。2年に一度行われるこの伝統行事は、江戸時代初期から受け継がれているもので、下帯一枚の男衆が冷たい沢水をかぶって身を清めた後、早朝から丹念に作った大きなしめ縄を稲荷神社の鳥居に奉納し、五穀豊穡、無病息災などを祈願しました。

Topic 09 大湯温泉雪まつり 雪上でクイズバトル



第42回大湯温泉雪まつりが2月11日に道の駅おおゆで開催されました。正午からは、4年ぶりに復活した雪上ウルトラクイズが行われ、参加者は子どもの部と大人の部に分かれ〇×クイズで熱い戦いを繰り広げました。夜になると、餅まきと宝さがし、雪原花火大会が行われ、来場者は冬の夜空を彩る鮮やかな花火に見入っていました。